

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		プライマリーすてっぷ			公表日		2025年 2月 27日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。				4
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 利用者の欠席が多い時はパートに欠勤を要請するなどして対処している。 更なる充実を図ってアルバイトやパートスタッフも募集している。 	<ul style="list-style-type: none"> 時に子どもの状態、対応に追われて手が足りなくなる時がある。 		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	2		<ul style="list-style-type: none"> 階段があるため、身体障害児は受け入れにくくなってしまっている。 2階に上がるのに車いすだと難しい。 		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容に応じて部屋のレイアウトの変更や、活動しやすい場所への移動を提案している。 その日の活動により机の配置や個人の場所を考えています。スタッフ間で話し合いながら決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理の時は広さやコードの配線など苦心している。 		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 1で答えたように個別のクールダウンスペースあり。必要でスタッフ都合つけば外や体育館も利用。 個別の部屋は無いがクールダウンスペースを設け、必要な時は部屋の出入りも制限している。 他の子から離れて過ごす場所が作られたことで仮にそこを利用していなくても安心してもらえる利用者が増えた。 			
業務改善	6		業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 全職員参加でミーティング、個別会議を行っている。 ミーティングにて意見を出しやすい場や振り返りの機会を設けている。 	
	7		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4	1	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度のを改善に繋げた（防災について）。 毎年実施している。 	
	8		職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 毎年の自己評価や、ミーティングにて議題にあげている。 職員同士の共有情報を基に常に改善考慮されている。 	
	9		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1	4	<ul style="list-style-type: none"> 関係してもらっているOTや講師の先生の意見は参考にしてている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に計画の上には載せていない。
	10		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で外部講師を依頼した研修や、個人の研修参加も共有している。 	
	11		適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> HPIに公表している。 	
	12		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 年2～3回実施。 	
	13		放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5			
	14		放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> パートスタッフにも常に情報を伝えており情報共有している。 	
	15		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		<ul style="list-style-type: none"> 専門家からアセスメント表を作成していただき使用している。 	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・担当スタッフで協力して話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・分担し固定化しないようにしている。 ・過去の活動を振り返りながら考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		・役割分担は予め決まっている。課題ある(久しぶりの利用、最近の不調等)場合は予め職員に伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		・次の支援までの間に気になる点は共有するようにしている。 ・その日気付いた点は必ず報告するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				・スケジュールや時間の確認をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・送迎の時、学校やなかよし教室の先生とは、情報共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		・連携できるように交流の機会を設けてく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		・情報提供書を作成している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		・地域の公園で一緒にあそぶことがある。 ・遊びに来ている地域の子と一緒に遊んだりしている。また、より交流が深まるような機会を設けていく。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		・事業所交流会へは参加している。	・自治体により自立支援協議会のメンバーは決められており参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・毎回連絡シートで様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		・面談がその機会ととらえている。 ・外部講師を招いて勉強会、保護者会を行っている。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	・保護者面談後には、職員間で内容の共有を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・いつでも相談を受けられるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・すてっぷレターの発行、Instagram、HP等できる限りのことは実施。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	・保護者に許容範囲について意見を聞くなどして対応している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・法人ぐるみのイベント等はある。 ・現在企画中。	・事業所としてはない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・年度初めに毎年アレルギーの調査票を配布し、回答いただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・避難訓練は毎年行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・避難訓練の実施、報告を行っている。非常時の送迎については書面にて説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・ヒヤリハットがあった場合は報告、共有している。必要場合は会議において対策の検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2			